

ペリオセラピア株式会社

<https://periotherapia.co.jp/index.html>

「トリプルネガティブ乳がん」等、
新たな治療法が切望されている難治性疾患に対応する
治療薬の研究及び開発



会社の特徴、事業概要

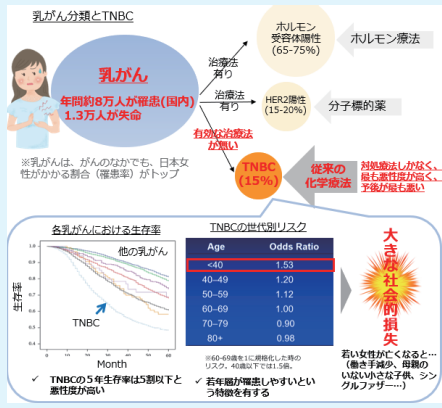
ペリオセラピアは2017年10月に設立された創業ベンチャーで、ペリオスチンを創業ターゲットとし、非臨床試験から早期臨床試験までを担い、医薬品の早期承認を目指す。まずは「トリプルネガティブ乳がん」を適応症とする治療薬の開発に取り組み、その後、心不全、腎臓疾患などの治療薬への適応拡大を目指し、研究開発を行う。

谷山氏は、10年以上積み上げた研究成果が患者を救うために役に立つか否かを自らの手で証明することが、今後、医学研究者が進む道のあり方を新たに示すことにつながるとの信念から、2017年10月に大阪大学を退職し11月にペリオセラピアの社長に就任した。

難治性疾患に対する「新薬の開発」は、きわめて難易度の高い事業であるが、大阪大学の研究成果を活用した革新的な新薬の開発により多くの患者を救うことにつながる可能性があり、極めて社会的意義の大きい事業であるとも言える。

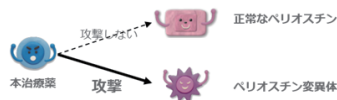
大阪大学との関係

大阪大学医学部臨床遺伝子治療学講座寄附講座准教授だった谷山義明氏が、研究の過程で、細胞外マトリックススタンパク質であるペリオスチンが心不全の重要な因子となることを発見。また、その過程で、心不全のみならず、若くして発症し、治療法がなく生存率が低いとされるトリプルネガティブ乳がんの治療薬としてペリオスチンが活用できることに着目(ペリオスチンに関連する特許を複数取得)。



オリジナリティー

“TNBCにペリオスチン変異体が関与していることを発見
この病的なペリオスチン変異体のみを叩く抗体医薬品を開発中”



本社所在地 大阪府吹田市山田丘2-2

代表取締役 谷山 義明

設立 2017年10月